

事務事業名		まつり開催運営支援事業		☒ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目				
	施策名	23 豊かな地域資源を活用した観光の振興				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 観光客の誘致と観光宣伝の充実				01	07	01	04	09
根拠法令										
所属	部課名	商工港湾部観光推進室		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 - 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～年度 ※全体計画欄の総投入量を記入						
	室長名	鈴木 弘								
	係名									
	担当者	高木隆幸	電話		0192-27-3111					
			内線	114						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
市内で開催されるまつりの実行委員会に対し、まつりの開催を支援するために負担金、補助金を交付している。 ・碓氷海岸観光まつり(碓氷海岸観光まつり実行委員会) 大船渡市の観光シーズンの幕開けを告げるまつり。市は実行委員会の事務局を担当している。 ・三陸・大船渡夏まつり(三陸・大船渡夏まつり実行委員会) 市内最大のイベント。震災前の人出は2日間で約20万人ともいわれた。大船渡商工会議所とともに市は事務局を担当している。 ・三陸大船渡さんままつり 大船渡港へ水揚げされたさんま等の提供及び販売を通じて水産都市「三陸大船渡」を全国へPRすることを目的として開催されているまつり。実行委員会の事務局は(一社)大船渡市観光物産協会が担当しており、市は実行委員となっている。 ・都市間交流事業 三陸・大船渡東京タワーさんままつり及び各都市交流事業の2つの事業に対する負担金となっている。 三陸・大船渡東京タワーさんままつりは、「東京タワー」において、大船渡港へ水揚げされたさんま及び市内特産品をとおして水産都市及び観光都市「三陸大船渡」の知名度アップと水産物等の販路拡大を図ることを目的として開催されている。実行委員会の事務局は(一社)大船渡市観光物産協会が担当しており、市長が実行委員長となっている。 各都市交流事業は、各交流都市及び復興支援の一環として開催されるイベント等に参加し、物産販路拡大を目的として実施している。(一社)大船渡						総投入量 (千円)	事業費内訳	国庫支出金		
								都道府県支出金		
								地方債		
								その他		
								一般財源		
								事業費計(A)	0	
人件費	正規職員従事人数									
	延べ業務時間									
	人件費計(B)	0								
	トータルコスト(A)+(B)	0								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
前年度実績(前年度に行った主な活動)	名称 単位
・碓氷海岸観光まつり実行委員会負担金、三陸・大船渡夏まつり実行委員会負担金、三陸港まつり開催支援補助金、盛町夏まつり開催支援補助金、三陸大船渡さんままつり開催事業負担金、都市間交流事業負担金	ア まつり開催日数 日
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	イ
・前年度と同様	ウ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
・直接対象 まつり実行委員会	名称 単位
・間接対象 市民、観光客	カ まつり実行委員会、打合せ会開催回数 回
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	キ
・まつりを円滑に運営してもらう。	ク
・まつりを観覧していただくとともに、大船渡のすばらしさ、歴史などを知ってもらう。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	名称 単位
・大船渡市を訪れる。	サ 碓氷海岸観光まつりの入込観光客数 千人
・魅力がPRされ、認知度が高まる。	シ 三陸・大船渡夏まつりの入込観光客数 千人
	ス

(2) 総事業費・指標等の推移										
			年度 単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	18,000	18,000	23,100	23,576	24,707	24,000
	事業費計 (A)		千 円	18,000	18,000	23,100	23,576	24,707	24,000	
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	
		延べ業務時間	時 間	900	900	900	900	900	900	
		人件費計 (B)	千 円	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	
		トータルコスト(A)+(B)		千 円	21,600	21,600	26,700	27,176	28,307	27,600
⑤活動指標		ア	日	7	7	5	6	7	7	
		イ								
		ウ								
⑥対象指標		カ	回	35	38	7	8	38	38	
		キ								
		ク								
⑦成果指標		サ	千人	-	11	27	21	25	30	
		シ	千人	-	45	66	50	50	50	
		ス								

事務事業ID	0450	事務事業名	まつり開催運営支援事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 大船渡市夏まつりは昭和32年に港まつりとしてスタート、昭和45年に、市民道中踊りが加わった市夏まつりとなり、平成9年からはかがり火まつりと同時開催となった。震災以降はかがり火まつりは廃止された。
 基石海岸観光まつりは昭和28年に地元の青年団による催しから始まりとなっている。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 ・平成16年度から、大船渡市夏まつりと大船渡・かがり火まつりを三陸・大船渡夏まつりとして同日開催するとともに、平成17年度に、大船渡市夏まつり実行委員会と大船渡・かがり火まつり実行委員会が発展的に統合し、三陸・大船渡夏まつり実行委員会となった。
 ・東日本大震災の影響で、平成23年度のまつりは中止になったが、平成24年度に再開した。
 ・平成24年度の機構改革により部課名が商工観光部商工観光物産課から商工港湾部商業観光課に変更となった。
 ・三陸・大船渡夏まつり実行委員会へ一括で交付していた負担金について、平成26年度から三陸・大船渡夏まつりと盛町夏まつりへの交付とした。
 ・市民活動支援事業を活用していた三陸港まつりについては、継続的な活動であることから、平成27年度より三陸港まつり開催支援補助金として交付した。
 ・平成28年度、商工港湾部内の組織機構の見直しより観光推進室が新設された。(平成27年度までは商業観光課観光物産係が担当)

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 特になし

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 基石海岸観光まつりや三陸・大船渡夏まつりは地域の特性である「海」を生かしたイベントであり、これらの開催を支援することは、豊かな地域資源を活用した観光の振興を推進している市の政策に直結するものである。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 協賛金などの自主財源だけでは現在のまつりの規模を維持することは困難であり、市の支援が必要。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 個別のまつり実行委員会への支援であり、限定される。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】⇒	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ まつりの企画に工夫をもたせる。特にも、大震災後は催事内容を縮小しているの、基盤整備状況等の復旧状況を踏まえ震災前の水準に戻していくための工夫や検討が必要。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 協賛金などの自主財源だけでは現在のまつりの規模を維持することは困難であり、事業を廃止・休止した場合、まつりの規模の縮小もしくは中止せざるを得ない状況となる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒ (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 市民活動支援事業があるが、3年間の期間限定であることから、継続して開催されるまつりへの支援は、市民活動支援事業の趣旨にそぐわない。
	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 削減によって、まつりの規模の縮小もしくは中止せざるを得ない状況となる。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】⇒	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) ・基石海岸観光まつり及び三陸・大船渡夏まつりについては、事務局の移管(委託)を行なうことにより削減することは可能である。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 実行委員会による運営のため、公平性は確保されている。

事務事業ID	0450	事務事業名	まつり開催運営支援事業
--------	------	-------	-------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 三陸・大船渡夏まつりについては、無償のボランティアスタッフの協力を得て運営するなど、経費の節減に努めている。 各まつりへの負担金の額もさることながら、事務局を担当している実行委員会の業務が多く、必ずしも市が担当すべき事業であるとは限らないことから、受け皿の整備も含めた事務移管の検討が必要である。																			
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☐ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) それぞれのまつりの規模や内容は内外に定着していることから維持することとしながら、市が担当している事務局については他団体への移管を検討する。		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上		●																														
	維持			×																													
	低下		×	×																													
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 受け皿がない。 大船渡商工会議所や大船渡市観光物産協会の受入態勢が整っていない。																																	

(職 名)	※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者	観光推進室長	鈴木 弘

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☒ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 ・震災からの復旧・復興が進み、夏まつりの開催環境が整えば、まつりの企画もさらに工夫ができ、成果の向上が期待できる。 ・基石海岸観光まつりの(一社)大船渡市観光物産協会への事務局移管によりコスト削減の可能性はある。																		
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☐ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) ・各まつり開催にあたっては、前年度の内容を検証するとともに、実行委員会として必要に応じて見直しや新企画を取り入れながら充実を図っていく。 ・三陸・大船渡夏まつり開催環境の改善(東日本大震災からの復旧・復興の進捗)状況にあわせて、まつりの充実に向けた企画を検討していく。 ・基石海岸観光まつりの事務局移管について、(一社)大船渡市観光物産協会と協議する。		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●	○		維持			×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上	●	○																														
	維持			×																													
	低下		×	×																													

5 最終評価結果

(1) 政策推進会議等での指摘事項
